修　士　論　文　の　和　文　要　旨

研究科・専攻	大学院　情報システム　学研究科　社会知能情報学　専攻　博士前期課程		
氏　　　名	佐藤　大輔	学籍番号	0951006
論　文　題　目	閲覧中のニュース記事に対するブログの主張を提示するシステムの開発		

要　　旨

近年のインターネットの普及により，大多数の人がインターネットを利用するようになった．また，インターネットは情報を得るだけでなく，情報を発信する場になりつつある．そのため，自分が興味を持っている事柄に対する他の人の意見を知ることがインターネットの利用法の一つになっている．同様に，ニュースに対する意見についても他の人がどう思っているかを知りたいというニーズがある．

そこで本論文では，閲覧中のWeb上のニュース記事に対する意見を個人のブログから収集し，その本文中の主張部分を抽出して提示するシステムの提案を行う．現在ニュースサイトにコメント欄が用意されているところは少なく，検索エンジンを用いても個人の意見のみを収集するのは容易ではない．そこで個人の意見を述べやすい場であるブログに着目してニュース記事に関連した意見を集め，主張を抽出する．本研究では主張とは意見の中で筆者が強く述べている主観的な部分を指す．提案システムの利用の流れは，ニュースを閲覧しながら関連する語句を複数入力し，ブログ検索を行う，検索結果のブログ記事から本文を抽出し，主張の抽出を行う，ブラウザの下部に主張をスクロールしながら提示する，である．開発中の主張提示システムの中で，本論文では主張抽出に焦点を当てる．

主張抽出では，従来の意見抽出で用いられる評価表現を利用した手法は適していないため，人手により主張であるとされた文から形態素解析を利用して主張文に特徴的な形態素があるかどうかを調べ，抽出ルールを設定した．評価実験において人手による正解との適合率を求めたところ66.7%となった．またWord2007の自動要約との比較も行い，提案手法がより主張部分を抽出できていることを確認した．本システムによりユーザーはニュースサイトを閲覧すると同時に意見の多角的な見方が可能になり，より深い洞察が得られるようになると考えている．